

8月市長定例記者発表要旨

と き 令和元年8月2日（金）11時～ ところ 庁議室

1 企業誘致に伴う立地表明について

7月30日に大分県庁で、本市内への企業誘致に伴う立地表明が行われた。立地表明を行ったのは、動画制作を通じ新たな価値の提供として、様々なサービス開発を行う株式会社グローバルシェア。

本市では本年度「佐伯市企業誘致戦略」を策定し、若年層の転出等による労働者の高齢化や人材不足の課題解決の一環とし、若者や女性のニーズにあった魅力ある雇用の場を創出するオフィス系企業の誘致の取組を強化していく。オフィス系企業事業所の新設は6年ぶり。

(1) 事業者の概要

- ア. 事業者名 株式会社グローバルシェア 代表取締役社長 中尾 裕一郎
- イ. 所在地 本社：神奈川県横浜市中区松影町1-3-7 ロックヒルズⅧ401
佐伯事業所：佐伯市内町507番地 ゲストハウス「さんかくワサビ」内
- イ. 事業内容 画像、動画編集等
- ウ. 雇用予定人数 10人
- エ. 開業 9月

(2) 経緯

地方での事業拠点設立を検討していた株式会社グローバルシェア 中尾社長と佐伯市雇用・産業支援協議会観光開発事業部リーダーの川野幹雄氏（元佐伯市地域おこし協力隊）が元同僚であった縁から、本市での開業につながった。

佐伯市地域おこし協力隊の中村香純氏が今年9月にオープンするゲストハウス「さんかくワサビ」内を事業所とするほか、同事業所に社員としてUターンする工藤智之氏は、元佐伯市地域おこし協力隊の工藤克史氏の実兄であり、今回の企業誘致は、地域おこし協力隊のメンバーの連携と活躍により実現した。

(3) 企業立地（新設、増設及び移設）の実績 ※令和元年8月2日現在

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新設、増設及び移設件数	9社	5社	12社	4社

※ 第2次総合計画における2022年度目標値（2017年度からの5年間）：30社

2 さいき農林業サポート人材バンクについて

農林業における労働力不足の解消及び農林業の活性化を図っていくため、昨年4月に設立した「さいき農業サポート人材バンク」を林業分野にも拡充し、「さいき農林業サポート人材バンク」とする。

(1) 人材バンクの概要

農林業に関心のある人、作業体験や自然とのふれあいを希望される人、就業の意欲のある人などを対象に農林業を手伝いたい人（サポーター）を募り、作業の手伝いを希望する農林業者を応援してもらうもの。

(2) 人材バンク登録実績 ※令和元年6月30日現在

	登録農業者数	登録サポーター数	マッチング数
平成30年度	33	40	25
令和元年度	2	6	4
計	35	46	29

(3) 林業の主な作業内容

- ア. 造林作業…杉苗等の植栽、再造林地の下刈等
- イ. 杉苗生産…母樹から採穂（穂採り）、挿し付け、コンテナ移植、出荷
- ウ. 椎茸生産…種駒植菌、ほだ木（原木）運搬及び伏せ込み、収穫

※ 別紙「さいき農林業サポート人材バンク」チラシ添付

3 空き家相談会（無料）について

市内に空き家を所有している人や空き家の活用を検討している人を対象に、空き家の売買、解体、相続、税金などの問題に対応するため、市と専門家による「空き家相談会（無料）」を開催する。

過疎化により増加した空き家が、景観上及び防犯・防災上、問題となっていることから、良好な住環境の確保及び空き家活用のための取組みで、昨年につき2回目の開催。

- (1) 日 時 8月15日（木）、16日（金）
 9時30分～12時、13時～16時 ※両日とも

- (2) 場 所 市役所本庁舎 1階 展示ホール

(3) 対 象 市内に空き家を所有している人
市内の空き家の活用を検討している人

(4) 主な相談内容

- ・空き家の売買、賃貸、活用
- ・空き家の相続問題
- ・空き家の改修や解体
- ・空き家に関わる税金
- ・空き家バンクへの登録

(5) 相談に応じる団体

司法書士会、建築士会、空き家管理事業者、佐伯宅地建物流通センター、佐伯市

(6) 空き家バンク登録、移住・定住の状況 ※ 令和元年6月末現在

ア. 空き家バンク物件登録数・成約数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録件数	13	24	31	36	7
成約件数	0	12	11	20	9

イ. ようこそ佐伯住まいるサポート事業（移住者への補助の実績のみ）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
世帯数	10	31	40	56	6
人数	26	95	81	122	11
補助金額(円)	10,000,000	29,613,040	36,731,480	36,425,742	5,127,340

※ I・Uターンによる新築、空き家バンク登録物件購入等。平成27年度は新築のみ。

※ 別紙「空き家相談会」チラシ添付

4 東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り 2019 について

佐伯市・延岡市の共通の資源である伊勢えびを通じて県内外へのPRを行い、地域外からの交流人口の増加や自立した交流を促し、地域の活性化を図ることを目的に実施する。今年で16年目の開催。

- (1) 主催 一般社団法人 佐伯市観光協会、一般社団法人 延岡観光協会
- (2) 期間 9月2日(月)～11月30日(土)
- (3) 場所 佐伯市及び延岡市 海道筋のお食事処・宿泊処
(佐伯市21店舗、延岡市6店舗が参加)

- (4) 内容 食事による海道札の配布、スタンプラリー、フォトコンテストを実施する。
- ア. 伊勢えび1kgを27名プレゼント(抽選)
 - イ. 伊勢えび料理の食事によりもらえる海道札を協賛施設(佐伯市10、延岡市7)でソフトクリームなどと交換
 - ウ. 地域の特産品48名プレゼント(抽選) ※スタンプラリー
 - エ. 伊勢えび1kg(1名)、特産品(5名) ※フォトコンテスト
- (5) 敬老の日企画
- ア. 期間 8月1日(木)～26日(月)
 - イ. 内容 子や孫から70歳以上の祖父、祖母に関するエピソードを募集し、審査の上、祖父、祖母へ敬老の日に合わせてプレゼントを発送する。
 - (ア) 伊勢えび料理食事券 12,000円相当(4組)
 - (イ) ノンアルコールあまざけ 2,000円相当(4名)

※ 別紙、「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り 2019」パンフレット

5 につぼん丸の寄港について

商船三井客船が運航するクルーズ船「につぼん丸」の平成27年5月以来5年ぶり、3回目の本市寄港が決定した。同社が企画する「2020 ゴールデンウイーク日本一周クルーズ」において横浜港を出発後、最初の寄港地として本市に寄港する。総トン数22,472トン、乗客数532人。

船内では佐伯産の食材を使った食事の提供が予定されている。また、佐伯港を出発するオプションツアーについて今後運航会社との協議を進めいくほか、埠頭現地や船内での佐伯産品のPRを行うなど乗船客の心に残るプログラムを提供し、4回目、さらに5回目の寄港へとつなげていく。

(1) 入港日時 令和2年4月29日(水・祝日) 9時入港～17時出港

(2) 入港歓迎プログラム等について

- ・ 歓迎式典
- ・ 佐伯市関係者によるお出迎えとお見送り
- ・ 観光案内ブースの設置
- ・ 佐伯市特産品物販コーナーの設置
などを予定

6 災害復旧・復興事業に係る職員の派遣について

平成30年7月豪雨により被災された広島県三原市に災害復旧・復興事業に係る人的支援として、職員を派遣する。

- (1) 派遣先 広島県 三原市 (建設部 災害復旧推進室)
- (2) 派遣期間 8月1日(木)～10月31日(木)の3か月間
(第1班) 8月1日から9月30日までの2か月間
(第2班) 10月1日から10月31日までの1か月間
- (3) 業務内容 ア. 道路・河川の災害復旧関連工事に係る設計・積算・施工監理業務
イ. 農地・ため池・水路・農道等の復旧業務に係る設計・施工監理業務
- (4) 経緯 被災市町村への支援は、毎年、全国市長会等を通じて職員派遣の依頼があり、三原市についても支援を必要としている市である。
今年度「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の会長である本市に対し、同会役員である三原市から直接依頼があったため、職員を派遣する。
三原市への職員派遣は、県内では本市のみ。
- (5) 派遣職員 (第1班) 総合政策部 契約検査課 工事検査係
総括主幹 橋本 元伸 (51)
(第2班) 未定